

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会
「電算システムの共同化」作業部会 状況報告

平成27年10月29日

1 作業部会設置の目的（ねらい）

これまで各市ごとに調達・運用されてきた電算システムを共同化することにより、コストの削減を図る。

2 これまでの活動実績について

(1) 平成25年度（3回開催）

- 共同利用の可能性・進め方に関する協議
- ・電算化に関する各市の簡易状況調査等

(2) 平成26年度（分科会方式：分科会2回・研究会2回）

- 共同化に向けたより具体的な協議（6市参加：行政情報システム最適化研究会）
- ・電算システムのコスト削減に資する7案の検討
- ・「行政情報システム最適化の基本構想（ビジョン）」の策定

3 平成27年度の活動状況

(1) 第1回（H27. 5. 22）

- 行政情報システム最適化研究会の活動報告と今後の進め方について
- ・「行政情報システム最適化の基本構想（ビジョン）」の概要説明
- ・基礎知識習得講座の開催

(2) 第2回（H27. 7. 13）

- 人材育成及び調達プロセスの共同化に関する協議
- ・「行政情報システム最適化の基本構想（ビジョン）」に対する意見等まとめ
- ・人材育成研修の実施について

(3) 第3回（H28. 2月（予定））

4 これまでの活動に対する評価（効果や課題）

- ・効果は、13市での共同化には直ちに向かえないが、人材育成及び調達プロセスの共同化については実現の可能性があることの認識共有が図られたこと。
- ・課題は、具体的な実施に当たっては、各市での予算化が必要となると考えられること。電算システム部門のみならず行政改革の観点からも議論を詰める必要があること。

5 広域連携推進補助金を活用した連携事業について

- ・県内13市で構成する「秋田県都市情報処理研究会」において、人材育成を図るための研修事業を、今年度3回実施予定。